
彼女はタイに行くらしい

並盛りライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

彼女はタイに行くらしい

【コード】

N6108B

【作者名】

並盛りライス

【あらすじ】

彼女はタイに行くらしい。僕を置いて行くらしい。

痛いのは嫌だから僕は曖昧に頷いた。

彼女はそれが気に入らなかつたらしく。

叩いた。

僕が謝ると、それも気に入らなかつたらしく。

蹴った。

それでも僕が、彼女に対する何らかのアンチテーゼを提唱する事はない。

彼女は満足したように頷くと、予定通りに行動した。

ならば最初から、自分の思うようにやったら良いのに、とは言えない。

スキー旅行はキャンセルである。

彼女はタイに行くらしい。

二人分の旅費で、彼女だけ行くらしい。

僕は若干、嫌な顔をしたらしく（彼女に言わせれば）

「嫌なら良いのよ」

何が良いんですか？

「嫌じゃないよ」

「じゃ、決まりね」

タイに何かあるというのだろうか。

「本当に僕を置いていく気？」

聞いてみる価値はある。

「お土産は何か良い？」

当然のように無視です。

「何でも良いです」

彼女はそれが気に入らなかつたらしく。

叩いた。

僕が謝ると、それも気に入らなかつたらしく。

蹴った。

「お土産は何が良い？」

彼女はタイに行くらしい。

「木の仏像とか？」

「重い」

「伝統的な絹織物は？」

「重い」

重いだろうか？

「タイって何があるの？」

「お箸、とか？」

お箸ですか。

絶対にお箸を買ってくる気だな。

他には？」

「お箸でいいじゃん。軽いし」

そうですか。

「じゃあお箸でいいよ」

「じゃあって何よ。せつかく何が良いか聞いてるのに」

「タイのお箸が欲しい」

「本当に？」

ああ面倒くさい。

「ホントに欲しいよ」

彼女はタイに行くらしい。

「お金は？」

旅費は半分出しました。

「何の？」

「お土産よ。買ってきてあげるんだから」

「千円位？」

「私の分も合わせて四千円かな」

一本千円のお箸を買ってくる気か？

「今、お釣りが無いの。五千円札でいいわ」

お釣りが無いって言つといて？

「あ、千円札三枚と五百円玉が二枚あった」

彼女はそれが気に入らなかつたらしく。

叩いた。

僕が謝ると、それも気に入らなかつたらしく。

蹴った。

「五千円札でいいわ」

僕はしぶしぶ五千円札を渡す。

「じゃ、体につけて」

「見送つてくれないの？」

「行くよ」

「別に来なくもていいけど」

「行くつて」

「じゃあ明日、家の前まで車で来てね」

「何時に？」

「午前四時に」

「何時の便に乗るの？」

「九時半だったかな」

「じゃあ早すぎだろ」

「準備と化粧があるし」

「当日に準備？」

「手伝つてね」

「化粧を？」

はっ、声に出してしまった。

「もちろん準備よ」

彼女はタイに行くらしい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6108b/>

彼女はタイに行くらしい

2010年11月23日07時01分発行